



ひろさきボランティアセンター登録団体の活動をご紹介します!!

ひろさきボランティアセンターに登録いただいた団体の中から、弘前学院大学のボランティアサークルの活動を紹介いたします。

こんにちは、弘前学院大学のヒロガクインクルージョンネットワークで活動している代表の天坂航大です。ヒロガクインクルージョンネットワークは通称、「ヒロイン」と呼ばれており、ボランティアサークルとして活動しています。

「ヒロイン」では、主に3か月に1回のペースで、「^{だいさん}橙燦カフェ」という認知症カフェを第三地域包括支援センターと協働で開催しています。橙燦カフェは、認知症カフェとして、地域住民と楽しく会話をしながら、介護、医療、リハビリ等の専門職の講話を聴き、交流することを目的としています。また、専門職の講話は、認知症予防や認知症の方との接し方を専門職の視点から学ぶことができ、自分の生活や周りの人への接し方など多くの気づきを得ることができる機会にもなっています。

この他にも「ヒロイン」メンバーは、認知症について知識や理解を深めるため、「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターとして活動、さらに認知症にやさしい街づくりの一員として地域づくりに努めています。

今はコロナ禍ということもあり、橙燦カフェでは飲食ができないことや積極的にボランティアへ参加が難しいことなど多くの課題がありますが、今できることを少しずつ取り組んでいます。

また、「ヒロイン」には、福祉への熱い思いと積極性を兼ね備えたメンバー（後輩）がたくさんいるので、今後のボランティアサークル「ヒロイン」は盛り上がっていくこと間違いなしです!!!

※弘前学院大学「ヒロイン」の活動に関心のある方は、ひろさきボランティアセンターまでお問合せください。

※橙燦カフェ・認知症サポーター養成講座に関する問合せ先
第三地域包括支援センター ☎0172-39-2515



「橙燦カフェ」の様子





弘前でボランティア活動に参加して



私は愛知県在住ですが、次女が学生時代に6年間弘前に住んでいて、年に2、3回弘前を訪れることがあり、また私の仕事関係で弘前の農家さんやドライバーさんなど数名の知人もあり、その方々とのふれあいや、数多くある温泉での人々とのふれあいの中で、弘前の魅力にどんどん惹かれていきました。それは、観光はもちろんの事、弘前の自然であったり、風土であったり、人々の温かさであったり、津軽弁の優しさだったり、厳しい冬を乗り越えるたくましさであったりと色々あります。

今回私は、60歳の退職を機に1か月弘前に滞在して、娘がお世話になった弘前、私自身も大好きな弘前で恩返しとちょっと弘前を知りたい、そんな思いで弘前に着いたその日にヒロキ3階にあるひろさきボランティアセンターを訪ねました。1か月の短い間で何か私でも役に立てる事はあるのかな？ そんな思いでしたが、担当スタッフの皆さんが丁寧に説明してくださり、何の不安も心配もなく3つのボランティア活動に参加させて頂く事が出来ました。

自然いっぱいの岩木山の麓で多くの人達や犬達が楽しんで「ドッグフェスイワキ」、参加の皆さんが楽しんで協力して調理、食事していた「みんなの食堂おいでえーる」、実際の雪囲い作業を体験して、普段何気なく訪れて観ていた藤田記念庭園の美しさは、それを維持する為に日々努力しておられる庭園管理の皆さんのおかげだと気づいた「藤田記念庭園での雪囲い体験」と、この3つのボランティア活動は、私は全て初めての経験、体験であり、単に無償のお手伝いと言う事ではなく、本当に自分のこれからの人生においてもしっかり考えさせられ得るものが多く、それぞれの活動が終わった後の充実感は、普段の生活では得難くありがたいものだと感じました。



3つのボランティア活動に参加させて頂いて感じた事は、ボランティア活動は何も特別な事ではなく、人間の本来の姿なのだという事です。人間関係が軽薄になったと感じる昨今、人々のコミュニケーション、共に働き、共に生きる事を忘れがちになっていると感じます。ボランティアの中で生まれるコミュニケーション、これまでした事のない新しい経験、体験をする事によって獲得する自分の可能性(人間性)の充実など、人間の原点に立ち戻らせてくれる、また、考えさせてくれる活動だと感じました。



藤田記念庭園の雪囲い体験ボランティアで、ひろさきボランティアセンターのコーディネーターの人から、「私なんか、ボランティア活動に参加して何か出来る事があるのだろうか？役に立てる事があるのだろうか？と心配する事はなく、まずは参加して体験してみる事が一番大切なんです。」と教えて頂いた事が、ボランティア活動に参加して初めてしっかり理解出来たと感じました。

まずは「一歩踏み出す事」の大切さ大事さを教えて頂いた体験であったと感謝しております。これからも機会があれば、積極的にボランティア活動に参加して行こう、と思わせてくれる体験がありました。ありがとうございました。

かかむ
各務隆彦

藤田記念庭園での雪囲い体験ボランティアの様子



令和4年度市民協働交流まつり開催のお知らせ

令和5年2月23日（木・祝） 市民協働交流まつりを開催！

市民参画センターやひろさきボランティアセンターに登録している団体が、自分たちの活動の発表や交流などを行うイベントです。舞台発表、展示、体験、販売をヒロコ3階、4階を会場におこないます。皆様のお越しをお待ちしております。

日時 令和5年2月23日 木曜日（祝日）

午前10時30分から午後2時30分まで

会場 展示、体験、販売・・・ヒロコスクエア内（ヒロコ3階）

発表・・・・・・・・・・市民文化交流館ホール（ヒロコ4階）

（同日午後1時30分から 協働まちづくりフォーラムも開催されます。）

展示については、2月24日から3月5日まで延長して行います。当日おいでになれない方も、多くのグループの活動の様子をご覧ください。ぜひご来場ください！



過去の開催の様子

バルーンアート



パンの販売



絵手紙づくり体験



ステージでの発表



ボランティアに興味のある方、センターに登録しませんか！ お待ちしております！！

ひろさきボランティアセンターでは、ボランティア登録制度を始めました。団体または個人で登録いただいた方へ、特技や興味のある分野に応じた活動の紹介を行うほか、アドバイスや活動に役立つ研修の情報なども随時提供します。

「過去のボランティア経験を活かしたい」、「ボランティア経験は無くても興味がある」、「引越しや退職をきっかけに何かを始めたい」、「ボランティアをしてみたいけど、どうしたらいいかわからない」という方など、まずは一度ご連絡いただければと思います。

また、ボランティアしてくれる人を紹介してほしいという場合や、イベント・行事等でボランティアを募集したい方からの相談にも応じています。

ご登録手続きの際はセンター窓口に届出用紙を提出いただくか、下記登録フォームをご利用ください。



団体ボランティア
登録フォーム



個人ボランティア
登録フォーム



ボランティア募集
申込フォーム



豆知識

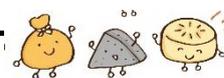
ショウガ



寒い時期はおでんが恋しいですが、何はなくともこの地方で欠かせないショウガ味噌。近年、県内の味噌ラーメンにはわりとショウガが効いている店舗があるぐらい、この地域にはなじみの風味であるショウガ。

ショウガは、古くは奈良時代から栽培されているとされ、当地だけでなく日本にとってもなじみの味。寒さにはあまり強くなく、10℃ほどで死んでしまいますが、本県でも栽培は可能です。霜の心配がなくなったところに植え付けをし、本格的に寒くなる10月頃に収穫すれば、おなじみのショウガがとれます。また8月頃から、葉ショウガとして株全体ではなく一部分を掘りあげていただくこともできます。

店舗に並んでいるものは、掘りあげた後乾燥しているため、色の濃い皮の固いイメージですが、掘りあげてすぐの新ショウガは、見た目にも白く繊維質も柔らかくみずみずしいため、薬味と言うよりも野菜という雰囲気。また植物としては病害につよく、土に問題が無ければ育成中は無農薬でも意外と育ちますので、春に向けて栽培を考えてみては？



編集後記

自分が担当する一言メモ「豆知識」について、常々思うところはある。ボランティアになんどの絡みもないがいいのだろうか？

とはいえ目を引く一文であれば、読者が興味を持ち、ふくろう通心の認知度の一助に。

そして何よりボランティアという観点で言えば、自分の持てる能力を無料で奉仕するという意味では間違っていないだろう。(藤)



＜制作＞市民ボランティアスタッフ ＜制作協力＞ひろさきボランティアセンター
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F ヒロロスクエア内
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822 HP: www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。